

# 野蒜築港関連事業 (2000年 土木学会選奨土木遺産)

横浜や神戸に先立ち、わが国初の近代様式築港として国家的期待を背負ってスタートしながら、やがて廃港という悲劇的な運命をたどった野蒜築港事業。

鳴瀬河口に残る巨大な石畳の突提跡やレンガの壁、現在する最古の様式閘門やわが国を代表する運河群に明治政府がかけた東北開発、近代化への熱い思いが伝わってくる。



野蒜築港跡



石井閘門

野蒜築港跡 : 明治11~17年竣工  
 石井閘門 : 明治13年竣工  
 北上運河 : 明治11~14年竣工  
 東名運河 : 明治16~17年竣工  
 貞山運河 : 明治16~23年拡幅改修



北上運河



東名運河